

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2・3年・重度・重複学級・普通学級Ⅰ類型		担当者名	○井上 佳世
教科・領域名		作業学習・紙工班			
ね ら い		(1)仕事の手順を理解して、責任をもって取り組むことができる。 (2)共同作業をとおして、コミュニケーションの力を育て、円滑に仕事をすることができる。 (3)仕事をとおして達成感や自己有用感を高め、働く喜びを味わう。			
曜日・校時・時間		火曜日・2～7時間目・9:20～15:05 木曜日・2～5時間目・9:20～12:30			
指導場所		紙工室			
年間授業時数		318.3 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	紙工班の仕事を知ろう	30.1	○紙工室の利用の仕方や道具の扱い方、清掃の方法を習得する。 □紙工の作業内容や道具の整理整頓・清掃、仕事にふさわしい身だしなみについて学ぶ。(知識・技能) ○道具の準備から片付けまでを一人で行い、作業に取り組む。 □道具を正しく使い、再生紙作りに取り組むことができる。(思考・判断・表現)		・再生紙作りの工程表を絵カードで作成することで、複数の工程があることを確認できるようにする。
5	一人で作業に取り組もう	119.7	【補助線引き】【カッティング】【印付け】【穴あけ】 ○手元をよく見て、安全かつ正確に作業することができる。 ○用具の扱い方を知り、丁寧に作業することができる。 □折れ目に沿って真っすぐに線を引いたり、指定された位置に正確に印を付けたりすることができる(知識・技能) □完成イメージを理解し、見通しをもって取り組む(主体的に学習に取り組む態度) 【ラミネートはがし】【干し】【取り込み】【紙ちぎり】 ○ラミネートを丁寧に はがす技能を身につける。 ○はがした紙を干す・取り込むなど工程に沿った作業を行う力を育てる。 ○紙ちぎりをおして、指先の巧緻性・力加減の調整を高める。 ○ミキサーの扱い方を知り、正確に作業をすることができる。 □計量カップ等を用いて、決められた量の水や紙を計測する。(知識・技能) □タイマーを用いて時間を計測し、決められた時間、ミキサーをかける。(知識・技能) 【紙すき・ローラー】 ○用具の扱い方を知り、丁寧な作業を行うことができる。 □片寄らないよう紙漉き枠を水平に引き上げる。(知識・技能) □均等な力でローラーをかけ、水分を抜く。(知識・技能)		・各工程の正しいやり方を手順書や教材、環境設定を工夫することで、分かりやすく示す。個々の実態に応じた作業内容を検討し、支援方法を統一する。 ・ワークトレーニングに取り組み、手指の巧緻性を高める。 ・出来高を確認することで集中力、取り組む姿勢を学んだりする。また実態に応じて、報告、相談などの場面を設けて、正しい言葉遣いや姿勢を経験的に学習できるようにする。 ・指示された時間で休憩をとることで、活動の緩急を意識すると同時に、長時間の作業に心身ともに安定して取り組む経験を積むことができるようにする。
6					
7					
9					
10	お客様に喜ばれる製品を作ろう	55	○玄関販売やせせらぎマルシェで販売する製品の製作に取り組むことできる。 □作業工程や作業分担を示した手順書を確認して製作する。(知識・技能) □手順書を見ながら、販売する製品の袋詰めをする。(知識・技能) □完成品の見本を見て、不良品との違いに気づき、作業製品の検品を行う。(思考・判断・表現) ○おもてなしの心を育む □おもてなしの心得を学び、来客に笑顔で挨拶や接客をしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) □誰にでも見やすい掲示物を工夫して作成する。(知識・技能)		・製品の袋詰めなどの作業を通じて、商品として人から求められ喜ばれることを意識できるようにする。 ・ロールプレイなどを通じて接客の際の正しい言葉遣いや、役割分担について経験的に学ぶことができるようにする。
11					
12	仲間と協力して、作業に取り組もう(ラインでの作業)	81.5	【補助線引き・カッティング・印付け・穴あけの工程をラインで行う】 【洗い・ラミネートはがし・干し・取り込み・紙ちぎりの工程をラインで行う】 【計量・ミキサー・紙すき・ローラーの工程をラインで行う】 ○作業のローテーションをし、様々な作業に主体的に取り組むことができる。 □手順書を見ながら、安全に一人で作業に取り組む。(知識・技能) □作業のやり方が分からない時に、自分に合った方法で、友達や教員に相談する。(思考・判断・表現) □新しい作業の内容を理解し、一定時間集中して、作業に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) ○友達と協力して、作業に取り組むことができる。 □作業でできた物を所定の位置まで運び、次の作業をする友達に報告する。(知識・技能) □分業化されたチームごとに作成された出来高表を見て、チームの友達と協力して、早く正確に作業を行おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		・友達と連続した作業行程に取り組む、自分の作業工程に丁寧に 取り組んだり、出来高に気を付けたりする意識を高められるようにする。 ・他の作業班から部品を譲ってもらったり、作った製品を納品したりすることで、他の作業班の仲間とのやりとりで正しい言葉遣いなどを意識できるようにする。
1					
2					
3	製品を管理しよう	32	○製品の種類分けをし、分かりやすいように管理する。 □製品の保管場所に示された写真やカードを見て、製品の分別する。(主体的に学習に取り組む態度)		・在庫管理表で製品数の管理ができるようにする。
備考		【全単元共通】 ○作業日誌を記入し、作業の振り返りを行うことができる。 □作業を振り返り、出来高表等を参考にして、できたことや課題について考える。(思考力・判断力) ※年間をとおして、挨拶・報告・身だしなみの指導をする。			